

その1



蛇口

栓を閉めるときは上の写真のように手で握らずに閉めているだろうか。せっかくなきれいにした手を汚さない、日々の細心の注意が感染拡大のリスクを減らすことにつながるだろう。

新型コロナの影響で

新設備続々と導入



その2 消毒液の踏み台

その3



各教室に設置されているサーキュレーター。扇風機との違いはその用途だ。あくまでサーキュレーターは空気を循環させるものである。決して「ワレワレハ宇宙人だ」とするものではないのだ。

この台は各棟1階階段前に設置されている。みなさんは登校時に手指消毒を徹底しているだろうか。消毒の効果はマスク以上とも言われている。

新型コロナ対策のために導入された新設備、試みについて保健室の若林真理子先生に話を伺った。

サーキュレーター

新たに導入された設備は主に3つ、階段に設置されている消毒液の踏み台、レバー式の蛇口、そして教室のサーキュレーターだ。

導入された理由について若林先生は「消毒液の踏み台は足でプッシュすることで不潔な手が触れずに消毒できる。蛇口をレバー式に変更したのは従来のものではせっかくな洗いしても閉めるときに洗ったところが汚くなってしまいうからだ。またサーキュレーターは教室の空気の流れをつくり教室換気の効率をよくすることができる」と説明された。

また設備面以外での試みについて「先生方のフェイスシールドや、各教室に体温計や消毒液が常備されている」と話された。若林先生は「設備を整えるのも重要だが、何より意識が大切だ。手からの感染リスクが最も高い。つり革やドアノブなどには多くの人が日々触れる。そこで毎日帰宅後、食事前に手洗いをするのが重要だ。手洗いに加えてマスクも飛沫防止の対策になる。マスクはもはや公衆のマナーだろう。感染拡大を防ぐためには手洗いをするのが最善の方法だ」と熱く語られた。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部
彦根市金亀町4番7号